

則定 隆男 博士 年譜・著作目録

〈年 譜〉

1949（昭和24）年 神戸市に生まれる

〔学歴〕

1964（昭和39）年 3 月 関西学院中学部卒業
 1964（昭和39）年 4 月 関西学院高等部入学
 1967（昭和42）年 3 月 関西学院高等部卒業
 1967（昭和42）年 4 月 関西学院大学経済学部入学
 1971（昭和46）年 3 月 関西学院大学経済学部卒業
 1971（昭和46）年 4 月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程入学
 1973（昭和48）年 3 月 関西学院大学大学院文学研究科修士課程修了
 1994（平成6）年 7 月 博士（商学）（関西学院大学）

〔職歴〕

1973（昭和48）年 4 月 兵庫県立神戸北高等学校教諭
 1977（昭和52）年 3 月 兵庫県立神戸北高等学校依願退職
 1977（昭和52）年 4 月 平安女学院短期大学専任講師
 1980（昭和55）年 4 月 平安女学院短期大学助教授
 1984（昭和59）年 3 月 平安女学院短期大学依願退職
 1984（昭和59）年 4 月 関西学院大学商学部専任講師
 1986（昭和61）年 4 月 関西学院大学商学部助教授
 1989（平成元）年10月 関西学院大学教務部委員（至1991年3月）
 1991（平成3）年 4 月 関西学院大学商学部学生副主任（至1992年3月）
 1992（平成4）年 4 月 関西学院大学教授（至現在）

- 関西学院大学商学部教務副主任（至1994年3月）
- 1994（平成6）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程前期課程講義担当
- 1995（平成7）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程前期課程指導教授（至現在）
- 1996（平成8）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程後期課程講義担当
- 1997（平成9）年4月 関西学院大学商学部教務主任（至2000年3月）
- 1998（平成10）年4月 関西学院大学商学研究科博士課程後期課程指導教授（至現在）
- 2000（平成12）年4月 関西学院大学教務部長（至2002年3月）
- 2002（平成14）年4月 関西学院大学商学部長（至2004年3月）
- 2006（平成18）年4月 関西学院大学全学選出大学評議員、商学部学部長室委員（至2007年3月）
- 2007（平成19）年4月 関西学院大学全学選出大学評議員、商学部学部長室委員（至2008年3月）
- 2010（平成22）年4月 関西学院大学学部選出大学評議員（至2011年3月）
- 2011（平成23）年4月 関西学院大学学部選出大学評議員（至2012年3月）
- 2014（平成26）年4月 関西学院大学商学部学部長室委員（至2015年3月）
- 2015（平成27）年4月 関西学院大学商学部学部長室委員（至2016年3月）

[非常勤講師・客員研究員等の職歴]

- 1978（昭和53）年4月 関西学院大学商学部非常勤講師（至1984年3月）
- 1987（昭和62）年4月 甲南女子大学非常勤講師（至1995年3月）
- 1988（昭和63）年4月 関西女学院短期大学（現関西国際大学）非常勤講師（至1989年3月）
- 1995（平成7）年9月 英国 Bristol 大学客員研究員（至1996年3月）
- 1996（平成8）年4月 甲南女子大学非常勤講師（至2000年3月）
- 2004（平成16）年4月 英国 Bristol 大学客員研究員（至同年6月）
- 2008（平成20）年4月 オランダ Radboud University 客員研究員（至同年9月）

[所属学会における主な役職]

- 1982（昭和57）年10月 日本商業英語学会庶務会計委員（至1988年9月）
 1988（昭和63）年10月 日本商業英語学会理事（至1991年9月）
 1991（平成3）年10月 日本商業英語学会常任理事（至1994年9月）
 1992（平成4）年1月 日本商業英語学会関西支部支部長補佐（支部長代行）
 （至1992年12月）
 1993（平成5）年1月 日本商業英語学会関西支部長（至1995年12月）
 1997（平成9）年10月 日本商業英語学会常任理事（至2000年9月）
 2000（平成12）年10月 日本商業英語学会理事長（至2003年9月）
 2001（平成13）年10月 国際商取引学会理事（至2007年9月）
 2006（平成18）年10月 国際ビジネスコミュニケーション学会（旧日本商業英語学会）理事（至2009年9月）
 2009（平成21）年10月 国際ビジネスコミュニケーション学会相談役（至現在）

[日本学術会議における役職]

- 2003（平成15）年10月 日本学術会議商学研究連絡委員（至2005年10月）

[日本学術振興会における役職]

- 2005（平成17）年1月 科学研究費専門委員会委員（至12月）
 2006（平成18）年1月 科学研究費専門委員会委員（至12月）

[大学基準協会における役職]

- 2009（平成21）年4月 大学評価委員会委員（至2010年3月）

[経営関連学会協議会における役職]

- 2006（平成18）年4月 経営関連学会協議会評議員（至2010年3月）

[受賞]

- 1991（平成3年）年11月 公益財団法人三井物産貿易奨励会優秀賞受賞

〈著 作 目 録〉

——著 書——

『ビジネス英語を学ぶ・考える』	英宝社	1990年 5 月
『契約成立とレター・オブ・インテント～契約成立過程におけるコミュニケーション～』	東京布井出版	1990年 9 月
『レター・オブ・インテントの用途と書き方』	東京布井出版	1995年 8 月
『ビジネスの「コトバ学」』	日本経済新聞出版社	2008年 8 月
『買わされる「名付け」10の法則』	日本経済新聞出版社	2010年 3 月
『フレームを変えると、世界が変わる』	関西学院大学出版会	2014年12月

——共 著——

『入門商業英語』（中村巳喜人共著）	英宝社	1982年 2 月
『国際オフィス・コミュニケーション～英語と実務～』（田中篤子・Bernard Susser 共著）	紀伊國屋書店	1993年 1 月
『国際取引における交渉の戦略と英語』（Byron Syler 共著）	東京布井出版	1995年11月
<i>Contract Formation and Letters of Intent</i> (M. Furmston & J. Poole 共著)	John Wiley & Sons	1997年 1 月

——共 編 著——

『国際ビジネスコミュニケーション』（椿弘次・亀田尚己共編著）（第1章「コミュニケーションから見る国際ビジネス」執筆）	丸善	2010年 3 月
--	----	-----------

——分担執筆著——

「国際取引交渉における法的ルールとコミュニケーション戦略」（新堀聰編『国際商取引とリスクマネジメント』第1章）	同文館	2004年 7 月
“Japanese Mind-set behind Shakushijohgi” in Ayseli Usluata (Ed.), <i>Communication: Spanning Cultures, Change and Challenges</i>	Yeditepe University	2008年 8 月

— 翻 訳 書 —

- | | | |
|--|-------|-----------|
| 『実践グローバル交渉』(Jeswald W. Salacuse 著)
(亀田尚己・福田靖共訳) | 中央経済社 | 1996年 1 月 |
|--|-------|-----------|

— 注 釈 —

- | | | |
|--|-----|-----------|
| International Business: Competing in the Global Marketplace (Charles W. L. Hill 著)『グローバル市場における競争戦略』(藤澤武史・美野久志・安田聡子共編注) | 英宝社 | 2009年 1 月 |
|--|-----|-----------|

— 論 文 —

- | | | |
|--|--------------------|-----------|
| 「現代英語における動詞＋副詞の結合」 | 『時事英語学研究』第16号 | 1977年 9 月 |
| 「現代英語における conversion」 | 『平安女学院短期大学紀要』第8号 | 1978年 2 月 |
| “Ambiguity in Writing” | 『平安女学院短期大学英学』第10号 | 1978年 3 月 |
| 「英字新聞の見出しの工夫と問題点」 | 『平安女学院短期大学英学』第11号 | 1979年 3 月 |
| 「『発送』の表現～商業英語における synonyms～」 | 『平安女学院短期大学紀要』第10号 | 1980年 3 月 |
| 「Sales Letter において受手の態度が Message に及ぼす影響」 | 『日本商業英語学会研究年報』第39回 | 1980年 8 月 |
| “Euphemism in Business: Past and Present” (英文) | 『平安女学院短期大学英学』第14号 | 1982年 3 月 |
| “Euphemism in Business” (英文) | 『日本商業英語学会研究年報』第41回 | 1982年 7 月 |
| 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究 (Ⅰ)」 | 『商学論究』第32巻第3号 | 1985年 1 月 |
| 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究 (Ⅱ)」 | 『商学論究』第32巻第4号 | 1985年 2 月 |
| 「ロイズ保険証券文言変遷の語学的研究の意義」 | 『日本商業英語学会研究年報』第44回 | 1985年10月 |
| 「『書式の争い』に対処する米国統一商法典 2-207条の不明瞭性」 | 『商学論究』第33巻第4号 | 1986年 3 月 |
| 「『書式の争い』の比較法的考察」 | 『商学論究』第34巻第2号 | 1986年12月 |

“The 1980 Vienna Convention on the International Sale of Goods against the Battle of Forms: In comparison with the Uniform Commercial Code” (英文)	Kwansei Gakuin University Annual Studies, Vol. XXXV	1986年12月
「レター・オブ・インテントにおける法的拘束力否定の表現の方法と効力～英米の場合～」	『商学論究』第35巻第1号	1987年6月
“Four Guidelines to Express the Intention to Exclude Legal Relations in Letter of Intent” (英文)	『日本商業英語学会研究年報』第46回	1987年10月
「レター・オブ・インテントにおける正式契約書への言及の効力～英米の場合～」	『商学論究』第35巻第4号	1988年3月
「レター・オブ・インテントにおける契約発生の停止条件～英米の場合～」	『商学論究』第36巻第1号	1988年6月
“Legal Effect of ‘Subject to Contract’ Clause in Letter of Intent” (英文)	『日本商業英語学会研究年報』第47回	1988年10月
「申込の表現」	『商学論究』第37巻第1・2・3・4号合併号	1989年10月
“A Legal Effect of ‘Good Faith Negotiating’ Clause in Letter of Intent” (英文)	『日本商業英語学会研究年報』第48回	1989年11月
「ビジネス・コミュニケーション研究に対する批判と提言～国際契約コミュニケーション論の提唱～」	『日本商業英語学会研究年報』第51号	1992年10月
「伝統的商業英語研究に対する批判的考察と国際契約コミュニケーション論の提唱」	『商学論究』第41巻第1号	1993年6月
「国際契約交渉の発展段階別分析」	『商学論究』第41巻第3号	1994年3月
「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～＜一＞」	『商学論究』第42巻第2号	1994年12月
「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～＜二＞」	『商学論究』第42巻第3号	1995年1月
「レター・オブ・インテントの用途とドラフティング～予防的ドラフティングから戦略的ドラフティングへ～＜三＞」	『商学論究』第42巻第4号	1995年3月
「個別的研究の統合化」	『日本商業英語学会研究年報』第54号	1995年9月
「個別的研究の統合化によるビジネス・コミュニケーションの体系化」	『商学論究』第43巻第2・3・4号	1996年1月
「交渉における対人関係志向コミュニケーション」	『商学論究』第44巻第2号	1996年12月
「契約観と交渉観における文化的要因」	『商学論究』第45巻第2号	1997年12月

「誠実交渉義務への三つの対応」	『同志社商学』第49巻 第4号	1998年2月
「交渉における他者志向的コミュニケーション vs 自己志向的コミュニケーション」	『日本商業英語学会研 究年報』第57号	1998年9月
「交渉における操作的コミュニケーション」	『商学論究』第45巻第 2号	1999年3月
「自己志向的コミュニケーションの戦略とそれへ の対抗戦略」	『日本商業英語学会研 究年報』第58号	1999年9月
「契約交渉過程における三つの法的義務」	『国際商取引学会年報』 第3号	2001年7月
「アメリカの企業から見た ADR」	『商学論究』第49巻第 4号	2002年3月
「ADR の推進力としての問題解決的アプローチ」	『商学論究』第50巻第 1・2号	2002年12月
「発信者としてのグローバル・マネジャーに対す る信頼」	『商学論究』第54巻第 1号	2006年6月
「電子商取引における価格誤表示に対する売主の 防御策」	『国際商取引学会年報』 第8号	2006年7月
「競争優位としての言語力～個人、企業、国の3 つの次元」	『国際ビジネスコミュ ニケーション学会研究 年報』第65号	2006年9月
“Relation-oriented Communication in Negotiation” (英文)	<i>Kwansei Gakuin Uni- versity Social Sciences Review</i> , Vo. 11	2007年2月
“Linguistic Ability as a Competitive Advantage: The Three Dimensions of an Individual, a Company and a Nation” (英文)	<i>International Review of Business</i> , No. 9	2007年3月
「学際的研究の効用の例証」	『国際商取引学会年報』 第9号	2007年7月
“Corporate Language Strategy”	『国際ビジネスコミュ ニケーション学会研究 年報』第66号	2007年9月
“Language’s Influence on Thoughts and Action in Business”	『国際ビジネスコミュ ニケーション学会研究 年報』第67号	2008年9月
「文化的キーワード『杓子定規』に見る日本人の 契約観」	『青山経営論集』第45 巻第2号	2010年9月
「英語の公用語化を考える」	『商学論究』第59巻第 4号	2012年3月
「ビジネスにおけるフレーミング」	『商学論究』第60巻第 1・2号	2012年12月

- | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 「ディズニーのフレーミング戦略～言語操作による従業員の意識改革～」 | 『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第72号 | 2013年 9 月 |
| 『「学習するビジネス英語」から『共に創り上げるビジネス英語』へ』 | 『同志社商学』第65巻第 5 号 | 2014年 3 月 |

——翻 訳——

- | | | |
|-------------------------------------|-------------------|-----------|
| 「新信用状統一規則」(Clive M. Schmitthoff 著述) | 『平安女学院短期大学英学』第16号 | 1984年 3 月 |
|-------------------------------------|-------------------|-----------|

——書評、コラム、講演記録——

- | | | |
|--------------------------------------|--------------------------------|-----------|
| 「秋山武清著『国際ビジネス・コミュニケーション論』」 | 『青山経営論集』第34巻第 4 号 | 2000年 3 月 |
| 「亀田尚己著『国際ビジネスコミュニケーションの研究』」 | 『同志社商学』第55巻第 4・5・6 号 | 2004年 3 月 |
| 「レター・オブ・インテントの法的リスクと商的効用」 | 『リーガルマインド』(医薬品企業法務研究会) No. 239 | 2004年 5 月 |
| 「ビジネスのコトバを考える～イメージより中身吟味を～」 | 北海道新聞夕刊 | 2008年11月 |
| 「亀田尚己・青柳由紀江・J. M. クリスチャンセン著『和製英語事典』」 | 『學鐙 (丸善)』第111巻第 2 号 | 2014年 6 月 |

——学会におけるコメント、パネル・ディスカッション、シンポジウム——

- | | | |
|--|--------------------|-----------|
| パネル・ディスカッション「私は商業英語教育のポイントをここに置く」 | 『日本商業英語学会研究年報』第49号 | 1990年10月 |
| シンポジウム「研究活動の方向性を考える～学会のアイデンティティーと研究のフレームワークを求めて」 | 『日本商業英語学会研究年報』第61号 | 2002年 9 月 |
| 「西口博之報告『契約締結上の過失責任—レター・オブ・インテントの曖昧性に絡んで—』に対するコメント」 | 『国際商取引学会年報』第 5 号 | 2003年 9 月 |
| パネル・ディスカッション「国際商取引におけるADRの新展開—理論的基盤—ADR 思考様式：交渉論の視点から」 | 『国際商取引学会年報』第 5 号 | 2003年 9 月 |
| 「亀田尚己報告『Bypassing Problems in Japanese-US Trade Relationship』に対するコメント」 | 『日本貿易学会年報』第41号 | 2004年 3 月 |

「亀田尚己報告『日・米・中国における利潤の概念について』に対するコメント」	『国際商取引学会年報』第8号	2006年7月
Panel Discussion: “International Business Communication in English in Asia: The Road Ahead”	『国際ビジネスコミュニケーション学会研究年報』第66号	2007年9月

——セミナー、講演会活動、パネル・ディスカッション——

「国際契約交渉の実務研究」	総合教育企画セミナー	2000年1月
「覚書の拘束力と有利な書き方」	総合教育企画セミナー	2000年6月
「英文ビジネスレターの法的拘束力と有利な書き方」	アクセスブレイン・セミナー	2000年8月
「契約成立、不成立を操る国際取引のビジネス交渉戦略」	アクセスブレイン・セミナー	2000年11月
「国際ビジネスにおける覚書の法的拘束力と有利な書き方」	アクセスブレイン・セミナー	2001年5月
パネル・ディスカッション「学生の主体的活動の開発に向けて～新入生向け少人数セミナー・基礎演習などのあり方～」	近畿地区大学教育研究会第70回研究協議会第1部会	2001年9月
「覚書の拘束力と有利な書き方」	総合教育企画セミナー	2002年6月
「契約交渉過程におけるコミュニケーション戦略」	同志社大学商学会特別講演会	2007年11月
「気づきからコンセプト創造へ～『名を付ける』から『名を創る』へ～」	社会経済生産性本部戦略マーケティング研究会	2009年3月
「ディベートの概要とその教育効果について」	兵庫県立西宮南高等学校教員研修会	2009年12月
Panel Discussion: “The Spread of English in Outer and Expanding Circles: The Situations in the Philippines, Russia, Bulgaria, China and South Korea”	国際ビジネスコミュニケーション学会第70回記念大会	2010年10月
「研究者にとっての異文化間コミュニケーション～文化、コトバ、交渉を考える～」	田辺三菱製薬研修プログラム	2013年8、9月
パネル・ディスカッション「ビジネスコミュニケーション研究のこれまでと今後の展開」	国際ビジネスコミュニケーション学会第74回全国大会	2014年10月